



たくましく生きる
(仲村さん)

6面に続く



2022年10月号

発行所 沖縄医療生活協同組合

豊見城市字真玉橋593-1

とよみ生協病院(8階)

☎ (098) 856-3107

ホームページアドレス <http://www.oki-iseikyo.jp>

発行人 上原昌義



沖縄医療生協の現状 2022年8月末

組合員数 98,255人

出資金 19億6,446万1千円

沖縄医療生活協同組合創立50周年を迎えるにあたり



良質で安心の医療と介護の提供、 いのち輝く社会づくりに貢献します

沖縄医療生活協同組合 理事長 上原 昌義



沖縄医療生協創立総会 (1972年10月1日)

医療が厳しい中
沖縄医療生協
創立される

1972年10月1日、沖縄医療生活協同組合が誕生して今年で創立50周年を迎えることができました。これまで多くの方々からご指導やご支援を頂けた事に心より感謝申し上げます。

「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」これは創立以来、様々な困難や試練を職員と組合員が協同して乗り越え、共に鍛えられ、その思いを紡いだ沖縄医療生活協同組合の大切な理念であります。

戦争で破壊尽くされた沖縄県は、米軍政府の支配下で経済活動も米軍優先で低迷

中、「患者の立場に立った医療」「無差別平等の医療」「患者と共に闘う医療」を実現しようとして、1970年12月沖縄民主診療所が開院、その後

困窮を極め、赤痢など各種感染症が蔓延し、全国平均を大きく上回っておりまして。復帰前後でも、病院や診療所の数は全国平均の約5分の1、病床数も全国類似県の半分以上、医師・看護師の数も全国平均の3分の1以下で、当時は自由診療制で国民皆保険制度はないため、現金がなければ受診できませんでした。1966年に沖縄にも医療保険が導入されましたが、それでも給付範囲は県民の4割と誰もが容易に受診できませんでした。



地域での老人健診 (1972年)

1972年10月1日沖縄医療生活協同組合が誕生しました。

医療要求に応え
事業拡大

地域の医療要求に応えるため、訪問診療や夜間診療、当時保険適用されていなかった訪問看護を先駆的に行い、職業病認定や出張老人健診、患者会活動など様々な事業を拡大し組合員の信頼を得てきました。その後、1976年沖縄協同病院、1987年中部協同病院、2009年新沖縄協同病院新築、とよみ生協病院が誕生しました。また病気になるってお金なくても受診できる県内で唯一の無料低額診療事業も2010年から開始し、無差別平等の医療が大きく前進しました。

現在第5次長期計画の元、新中部協同病院は運用されており、新とよみ生協病院も建設が開始されました。さらに沖縄協同病院東棟新築も具体的議論が開始されております。

これからも沖縄医療生協は職員と組合員、地域の皆様と協同して良質で安心できる医療と介護を提供し、日本国憲法が生きる平和で誇りある豊かな沖縄の実現、いのち輝く社会づくりに貢献できるよう努力してまいります。



2010年から無料・低額診療事業を開始



2022年度第58回の総代当選者公告

2022年9月26日

総代選挙規約第9条「選挙は、各選挙区ごとの定数を超えた選挙区について、投票をもって行う。ただし候補者が各選挙区ごとの定数内である選挙区については、投票を省略して候補者全員を当選とする」にもとづいて次の通り2022年度の総代が当選しましたのでここに公告します。

沖縄医療生活協同組合 総代選挙管理委員会
委員長 湧 川 朝 章

なご支部 豊島晃司 上野和昌 梶原資子 福地信昭 具志堅徹 比嘉靖理 大城恵理 名護北支部 砂川ツル 浜川初子 東江泰子 越沼美和子 東江英明 池宮秀行 屋部支部 呉屋利恵子 呉屋信竹 吉元苗子 吉元和男 宮城尚司 伊江島支部 名嘉實 喜屋武宗信 平安山良尚 大宜味支部 島袋和江 大山美佐子 大山涼子 東村 伊佐育子 今帰仁村 諸喜田政子 本部町 新川解子 比嘉宗信 比嘉人江 金武町 上原和雄 恩納村 金城美奈子 国頭村 比嘉尚 石川支部 玉城直樹 伊波功俊 伊波宏松 金城安子 島袋美智子 宮里美智子 山内英子 うるま具志川北支部 藤田義明 山田義富 久高広美 小渡善吉 宮城英和 石川澄子 新城光枝 新山菊枝 小渡米子	うるま具志川南支部 和宇慶昌子 明名和子 友寄和子 浜川サヨ子 糸村好子 小谷朝子 島袋吉明 与勝支部 伊保妙子 伊保義雄 野原美津子 山城信子 沖縄がんじゅう支部 池原秀明 又吉和枝 諸見里哲弘 諸見里邦子 金城美智子 玉城妙子 伊波泰子 伊禮禮子 伊禮祐美 遠藤優希 遠藤銘広 山城泉 沖縄市東南支部 當山盛吉 前宮徳男 前宮美津子 佐藤幸子 安里麗子 宮国茂子 照屋幸子 眞栄平文 眞栄平史 古謝源徳 宜野湾支部 宮城ミサ子 宜寿次洋江 桃原真紀子 知念君枝 知念吉男 知念幸枝 吉浜初子 西原支部 仲田タカ 喜瀬和美 伊礼一美 伊計裕子 鹿糠満枝 當眞嗣一 読谷支部 伊佐眞政 伊佐絹弘 伊佐真武 比嘉義信 照屋清善 浦添きた支部 比嘉秀信 比嘉由美子	平田ヒデ子 与那覇和男 田畑翔吾 銘刘信子 西平守伸 仲西光子 比嘉愛子 浦添みなみ支部 仲西常幸 仲西安子 伊礼保子 比嘉悦子 大田英子 西銘健子 平田サヨ子 ちやたん支部 中村綾子 長濱一男 仲里なつよ 本永悦子 嘉手納町 田仲末子 池原春子 北中城村 平安山一三 比嘉實洋子 中城村 安里ヨシ子 宮城達 那覇支部 儀保愛子 高志保安子 儀間力子 儀間ヨシ子 末吉トシ子 宮里トシ子 新垣洋子 山本一夫 山本千尋 前田直幸 那覇南支部 嘉手川えりか 喜瀬光夫 永山健太郎 永山重一 嘉手川英紀 金城晶子 高良春子 嘉手川重貴 儀間裕子 儀間光徳子 島袋順子 小禄北支部 池間たみ子 金城政子 湯地信子 大仲セツ子 湧田廣	四元盛一郎 橋本妙子 高良初子 高良富政子 大城絹江子 狩俣隆光子 小禄西支部 染谷なお子 上原栄美子 宮城弘子 比嘉朝子 上原富子 新里律子 真和志みなみ支部 比嘉民子 比嘉ハツ子 比嘉須賀子 比嘉数康子 比嘉敏三 比嘉常徳 比嘉浩明 真和志西支部 宮城宜子 砂川淳信 潮平寛 高良剛 長浜千恵子 野村スミ子 名嘉座元信 玉城米幸子 玉城栄都美子 赤嶺由美子 名嘉山吉子 屋良博一 安次嶺榮子 真和志あがり支部 新城長善 金城シマ子 諸見川貴美 久保田幸栄 我那覇ヨシ子 嘉数ヒロ子 宮城照子 勝間佳子 新垣順子 細田光雄 我如古るみ子 首里西支部 當眞玲子 志萱弘子 西村ミネ子 渡久地栄子 町田すえ子 首里東支部 宮城桂子	前泊郁子 與那嶺和子 丸山治美子 照屋元子 古謝涼子 内村敏雄 上田支部 福元孝 福元小夜子 古堅幸江 古堅宗宏 大城ときえ 比嘉理恵子 比嘉直子 伊良波支部 瀬長宏朝 儀間盛智子 仲山尚美 大城直己 原国政裕 原国まゆみ 座安支部 伊佐春美 島尻照 當銘由美子 新城富秀 赤嶺吉信 とみしろ支部 廣瀬和賀子 瀬長恒雄 吉元清子 照屋建昇 照屋つぎ子 照屋要 とよみ支部 兼子健一 新垣龍治 新垣米子 浦添正光 瀬長洋子 高嶺純子 津波古理恵子 阿嘉宗保 長嶺支部 賀数藤子 佐事ノリ子 佐事安夫 宮里美恵子 前田啓子 長嶺玲子 山城郁美 糸満支部 上原千津美 玉城智江 玉城初美 伊敷明子 国吉美紀 玉城よしえ 宮城純子 山城かずえ	玉城ノブ子 上原吉輝 川崎善美 糸満南支部 大城ヨシエ 大城富子 上原信子 大城和枝 浦崎哲男 浦崎豊子 糸満東支部 小堀端美智子 我謝恵子 金城範子 玉城すみ子 玉城安信 東筋オトメ潤 やえせ支部 原国邦子 仲原るり子 知念誠浩 玉城妙子 神谷清一 伊禮徹強 南城市知念支部 親川澄江 親川幸隆 具志堅政子 村上政江 親川松清 南城市支部 松田スミ子 親泊元哲 上里幸枝 中村康範 當山春美 田中知子 上原恵利子 知念成子 新垣直子 与那原支部 我謝孟範 我謝恵美子 瀬底律昇 新里ミヨ子 新里吉彦 南風原支部 幸地八重子 當眞嗣春 名嘉正勇 新垣恵次 新里肇 南風原南星支部 宮城寛諄 梅澤永治 大城盛徳 大本恵美子 仲本敏男	久米島支部 中本辰己 八重山支部 翁長孝夫 宮良礼子 西村亜希子 みやこ支部 平良若代 羽地香織 横山幸子 具志堅高子 上里清美 長嶺すみ江 沖縄協同病院 永村良二 山内昌喜 有銘一朗 赤嶺幸子 玉城義也 座安勝治 後藤直人 後當拓也 大城集守 伊仲村千晶 松原勝也 宇榮原翔 新垣奈智 新名嘉智 玉城誠也 又吉隆子 保村智明 嘉数慶人 新垣牧子 伊志嶺莉奈 屋富祖理奈 平良英里 仲島亮樹 新垣知征 湧川敦也 潮平美奈子 与那嶺龍也 藤村秀一郎 比屋根恵理子 永吉ユウ子 宮良ちえ子 照屋愛 とよみ生協病院 仲村敦 上原信行 山内小百合 比嘉雅也	知花徳高 赤嶺尚子 佐久眞操 森みどり 與座範秋 石原健太郎 佐久田由美子 屋比久七重 知名哲良 中部協同病院 上間こずえ 小森裕衣 屋比久垂弓 金城茂夫 八幡勝也 玉城真規 入月健郎 伊波達郎 和仁屋匡史 上間ルリ子 岸本富士代 上原幸恵 渡邊桃加 那覇民主診療所 玉城卓郎 比屋定郷子 糸満協同診療所 石川清美 赤嶺守一 首里協同クリニック 野原直美 浦添協同クリニック 石川輝裕 医療生協本部 久保田真央 与儀守仁 県連事務局 原口菜々子 協同にじクリニック 座安美紀 宜保美麗 山城幸江 生協グループホーム安謝 又吉毅実 やんばる協同クリニック 仲間洋子 石川にじの家 山内忍 地域包括支援センター古波蔵 金城みどり 生協ケアセンター 小濱華恵 生協訪問看護ステーションないる 大城真千子
---	--	--	--	---	---	--	--



沖縄戦を考える

住民犠牲の諸相、 学徒隊、防衛隊、わが家の沖縄戦

平良宗潤

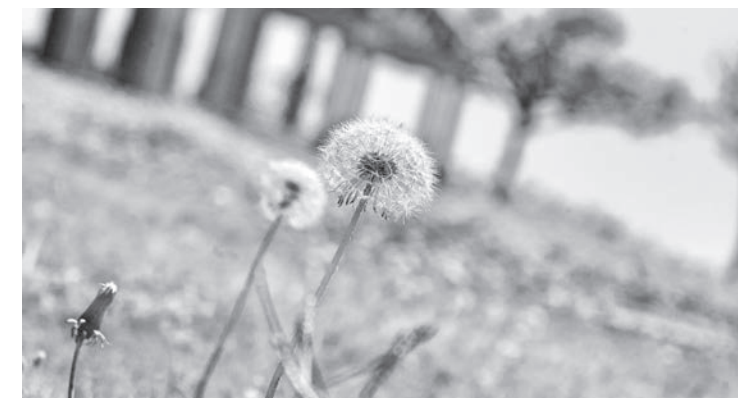
4 住民犠牲の諸相 ー幼児殺害など

団自決（集団死）の事例（証言）が具体的に示されている（287～300頁）。

沖縄戦終焉の地となった糸満の「戦時資料上」（『糸満市史』資料編7、2003・3刊行）には「住民犠牲の実相ー地獄の戦場」として、日本軍による壕追い出し、投降阻止、スパイ嫌疑、住民虐殺、米軍による住民虐殺、集

壕追い出しは、住民が身を

潜めていた避難壕を、陣地として軍が使用する、戦闘の邪魔になる、等の理由で有無を言わさず（抵抗する者は手榴弾や軍刀で排除し）、壕を追い出したことである。「泣く」子を連れて出ていけ。出て行かなければ殺す」と銃口を突きつけた（前掲『糸満市史』468頁）。敗残兵と化した一団は住民の食糧をも強奪した。



投降阻止は軍民雑居の壕で起こった。米軍の「出てこい」「出てこい」の呼びかけに、日本兵は住民の投降を許さず、抵抗したため米軍の攻撃にさらされた。火炎放射や黄燐弾、爆雷などにより多くの住民が巻き添えになった。

米須小学校近くにある全滅家族を悼む「忠霊の塔」には屋号ごとに死亡者の名が刻まれている。

スパイ嫌疑による虐待・殺

害は沖縄住民に対する軍の根強い不信から発生している。牛島司令官の訓示「防諜二厳ニ注意スヘシ」は日米の戦闘が激化すると「爾今（じこん）軍人軍属ヲ問ハズ標準語以外ノ使用ヲ禁ズ」「沖縄語ヲ以テ談話シアル者ハ間諜（かんちょう）トミナシテ処分ス」（球軍会報45・4・9）とされた。

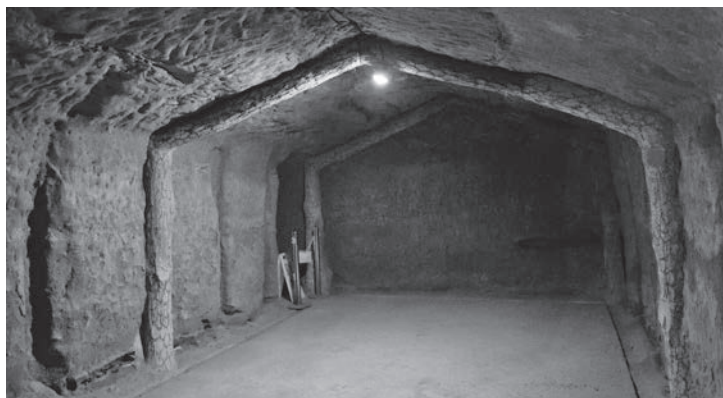
現地自活に徹した軍は陣地構築やその他部隊の活動に住

民を動員した。軍の情報を住民が知ることは不可避であり、これがまた住民をスパイ視する根拠とされた。方言を日常語として使用する者はすべてスパイとして疑われ、ビラを拾ったり、持参する者は容赦なく処断された。

住民殺害の中でも幼児殺害は最も悲惨である。『県史9 沖縄戦記録1』や『平和への証言』、中山良彦編『人間でなくなる日』には次のような事例が挙げられている。

「四・五歳の男の子が親がいなくて泣いていた。友軍の兵隊たちがこの子の泣き声が敵に聞かれる。この子をどうするか、誰も返事をしない。それで兵隊たちが奥の方でやつたんです。三角巾を引き裂いて首を絞めていた」（真壁）。

「子供はまた産める。3歳以下の子は自分で始末しない」（轟の壕）、「3歳以下の子はこっちで処理する、と言ってますよ。3歳以下は5名、私の弟と姪も入っていたので、壕を出る、と言った



ら、お前たちがスパイやるからと、一歩も動かさない。一人ひとり捕まえて注射をしたんですよ。どうにもならなかった」（真壁）。

「子どもを泣かすな、泣く子は殺してしまえ」「口にタオルを押し込んでおけ」（真栄里）、「子どもは戦争の邪魔だ。子どもを泣かすと誰でもいから殺してやるぞ」と怒鳴られ「注射してあげようね、大人しくなる注射だ」とその場で殺された（轟の壕）。

なかには「泣き止まない子どもを連れて出ていったけど、しばらくしたら母親は一人で帰ってきた。子どもをどうしたのか、何も言わないし、誰も子どものことを聞こ

うとしなかった」（豊見城の海軍壕）。

「泣くなど言っても子どもは泣く。兵隊に出て行けと言われても、子どもを抱えて行くところがない、自分らが最初に入っていたものだから、と出たがらない。すぐ夫の目の前で妻子を切り殺した」（国吉）。

私はかつて壕内で修学旅行生や学生たちに大声で一斉に「おい」と叫ばせて壕外に聞こえるかどうか何度か試したことがある。結果は「否」であった。壕内は枝穴が多く、防音効果があり携帯は「圏外」になる。乳幼児の泣き声が外に漏れたかどうか疑問である。

（つづく）



任論」を土台にした社会保障
解体が狙われています。今年
は特に利用料2割負担やケア



第24回沖縄全県自治体キャラバン日程

日程 ()は調整中			自治体名
11月1日	AM	火	国頭村
11月1日	PM	火	大宜味村
11月2日	PM	水	今帰仁村
11月4日	PM	金	東村
11月7日	PM	月	県庁
11月8日	PM	火	本部町
11月9日	AM	水	宜野座村
11月10日	AM	木	金武町
11月10日	PM	木	恩納村
11月11日	PM	金	読谷村
11月14日	PM	月	西原町
11月15日	AM	火	嘉手納町
11月15日	PM	火	北谷町
11月16日	AM	水	宜野湾市
11月16日	PM	水	うるま市
11月17日	AM	木	北中城村
11月17日	PM	木	中城村
11月18日	AM	金	浦添市
11月22日	AM	火	沖縄市
11月24日	AM	木	南風原町
11月24日	PM130-330	木	与那原町
11月25日	AM	金	那覇市
11月25日	PM	金	名護市
11月29日	AM	火	豊見城市
11月29日	PM	火	糸満市
11月30日	AM	水	八重瀬町
11月30日	PM	水	南城市
12月1日	AM	木	石垣市
12月1日	PM	木	(宮古島市)

11月1日 から「県民の命を守る社会保障制度拡充求める自治体キャラバン2022」が始まります。2025年高齢化ピークを国や大資本が負担せず乗り切るために「自己責任」が台頭している中、今年

今年もキャラバンでは「医療」「介護」「子育て」「障害者支援」「生活保護」「年金」など多くの分野で懇談をすすめます。多くの皆さんの参加でキャラバンを成功させましょう。

参加にあたってのお願い
①事前学習のために10月28日18時から産業支援センターで開催する「キャラバンキックオフ学習会」へご参加をお願いします。②基本的にZoomによるオンライン懇談になります。必ず参加登録をお願いします(生協組合員として参加する場合は生協本部を通じてお申し込みください)。

現在の工事進捗状況は、地中に不発弾等がないかを調べる磁気探査調査を行いながら、県営団地側の山留め工事を行っています。年内には全体的基礎工事を終え、年明けからは本部分の躯体工事に入っていきます。2023年1月からは毎月のように1階から8階までの躯体工事を行



皆さんこんにちは。2022年7月よりとよみ生協病院事務長に就任しました玉城と申します。宜しく申し上げます。さて、2022年7月30日に地鎮祭を終え、8月15日より本体工事がスタートしました。第5次長期計画では、協同にじくりニクスの改修工事、新中部協同病院建設工事に次いで、3番目の大きな事業活動として、新とよみ生協病院建設工事が始まっています。

9月22日(木)14時から「2022年度第1回組合員活動交流集会」が①2022年度全国四課題の目標達成に向け、つながりづくり月間にむけた意思統一を図る。②組合員活動の実践を交流し、学びあう場とする。を目的に開催され53名(職員22名、組合員31名)が参加しました。大城郁男まちづくり委員長より開会にあたり、豊見城市

での無料・低額診療事業の薬代が議会で採択されたと私たちの署名や要請活動の成果とあいさつがありました。「オーラルフレイル予防」のミニ学習、「組合員活動と今後の課題」「新とよみ生協病院建設進捗状況」「つながりづくり月間に向けた提起」「グループワーク」が行われました。グループワークでは「オーラルフレイルは大切だと思



う」「新しい組合員を増やすのも大切だが、今いる組合員を大事に対応していかないといけない」「しっかりと計画を立てて、目標達成するように取り組んでいく」「新とよみ生協病院建設チラシなども使いながら取り組みたい」「職員が地域の組合員さんと一緒に地域に出た取り組みを行いたい」「組合員さんとの関わり、平和を守る取り組みがすごくいい」など多くの意見、感想が寄せられました。安里嗣淳まちづくり委員長より閉会あいさつが行われました。月間に向けての意思統一ができた交流集会となりました。

住み慣れた地域で、医療・介護・福祉が切れ目なく受けられる「無差別・平等の地域包括ケア」をめざし、多くの組合員、職員の期待に応えられる医療活動を行っています。

地域組合員・職員組合委員とともに
健康づくり、強化月間、新病院建設にとりくもう!
2022年度第1回組合員活動交流集会

わったー病院の象徴
新とよみ生協病院 建設成功に向けて
とよみ生協病院 事務長 玉城 全一郎

い、2023年12月までには全体の基本的な工事を終え2024年2月に開院予定となっています。病院開院後には現在のとよみ生協病院の解体工事を行っていますので、その際の駐車場の確保についても現段階から対処していきたいと考えています。


 沖縄医療生活協同組合

2022年度

健康づくり講演会

日時：10月30日(日) 午前10時 講演開始
受付開始●午前9時30分 終了予定●午後12時30分

会場：JAおきなわ真和志支店 3階ホール

※オンラインでも参加できます

講師：佐々木 敏氏

会場参加は100名となりますので、申し込みはお早めをお願いします。

参加費：無料

※参加申し込み必須。参加申込メ切は10月21日です。



基調講演：佐々木 敏氏

『うちなんちゅにもすこしおは必要か？
～エビデンスに基づく減塩のすすめと
本当の健康食を考える～』

実践報告：西 亜記子氏

『塩分チェックコンテスト 10年間の取り組み
～スマイルすこしお実践へ～』



講師：佐々木 敏氏

東京大学大学院医学系研究科
社会予防疫学分野教授
女子栄養大学客員教授

医師、医学博士、専門分野は栄養疫学
国立がんセンター研究所支所、国立健康・栄養研究
所などを経て2007年より現職。医療福祉生協連の
24時間蓄尿塩分調査でもアドバイザーとして参加



講師：西 亜記子氏

宮崎医療生活協同組合

地域連携支援センター次長
栄養士、健康マスター、シナプソロジー普及員を取得

※会場の駐車場が少ないので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。また、地域によって送迎バスも用意していますのでお問合せください。

沖縄医療生活協同組合 健康づくり委員会
お問い合わせ 098-850-9004 (高橋・高崎)

新理事紹介



うるまブロック
桑江 良実

この度、うるまブロックの理事になりました石川支部の桑江良実です。20年ほど前に石川支部ができて、参加するようにになりました。当時は活動参加者も多くにぎやかでしたが、最近

動目標として、石川川のサクラの美化活動、ゆんたく会やウォーキング、その他新しい活動を計画して組合員ふやし、担い手づくりに繋げていきます。

高齢化とコロナの影響で活動がなくなり寂しくなりました。これらの活動から活

共同組織活動交流集会 in 山梨

つながり広がる 共同の“わ”を交流

「第15回全日本民医連共同組織活動交流集会in山梨」が9月11・12日、全国からオンラインで3435人、現地135人が参加して開かれ、沖繩からは69人(地域組合員45人、職員組合員24人)が参加。

初日全体会で、オープニング企画として高校生による「すいれき太鼓」に続き「山梨勤医協の倒産から再建のたか」と教訓の動画が上映されました。職員と共同組織の歴史的たかいは、涙あふれる感動的な再建動画でした。

記念講演で近藤尚己氏は、「貧困・格差による健康格差の広がりを指摘し、いま共同組織はつながりづくりでまちと社会の『資本』の役割があ

る」と強調されました。

指定報告では、4演題が報告され各地の共同の営みが広がっていることを実感しました。

2日目の分科会は、19分科会に174演題が寄せられ活発な実践交流が行われました。沖繩からは4演題(「南西諸島の要塞化」「ホープスポツトを守ろう」「発熱外来やワクチン接種」「健康ウォーク」)。

閉会式では、特別報告として私が「沖繩県知事選と復帰50年の今」と題して全国に発信しました。次回は2024年に岡山県で開催予定です。

共同組織運営委員 大城 郁男

※「交流集会」は12月まで全日本民医連ホームページから視聴できます。

日本医療福祉生活協同組合連合会

すこしおレシピ コンテスト2022のご案内



開催要項

1. 開催目的

- (1)おいしくて塩分控えめな料理づくりを通して、「少しの塩分」で「すこやかな生活」をめざす「すこしお生活※1」を広く普及します。
- (2)応募作品の中から優秀レシピをcomcomに掲載することで、「すこしおレシピ」を使った料理教室や班会など、すこしお生活のとりくみに役立てます。
- (3)各生協が「すこしおレシピコンテスト2022」企画へのとりくみを活用することで、健康づくりの「見せる化」や地域の様々な団体と連携を広げる機会とします。

※1：医療福祉生協連は、地域まるごと健康づくりの中心テーマの一つとして、「すこしお生活」をすすめています。「すこしお生活」とは「少しの塩分ですこやかな生活」をめざす医療福祉生協のとりくみの総称です。

2. 応募期間

2022年10月1日(土)～12月17日(土)

3. 応募条件

- (1)どなたでも応募できます。
- (2)班やサークルなどでも応募できます。代表者の連絡先をご記入下さい。
- (3)過去の料理コンテスト入賞作品は応募できません。
- (4)このコンテストに応募した作品は他のコンテストへの応募はお控え下さい。
- (5)自生協の機関紙や支部ニュース・事業所だよりなどの料理コーナーで紹介された作品の応募も可能です。ただし組合員・職員の作品に限ります。
- (6)生協での減塩レシピコンテスト・レシピ集の中からの応募も可能です。

※詳しくはまちづくり推進部(098-850-9004)までご連絡をお願いします。資料等をお送りします。

沖縄医療生協

辺野古座り込み18周年 連帯行動



日 時：11月19日(土) 10時～11時
場 所：名護市辺野古テント村
対 象：地域組合員、職員組合員

お問い合わせ：098-850-3185 人事総務部：金城

10月の日程

筋トレ(健康)教室

※新型コロナウイルス感染症予防のため状況判断に応じて中止もあります。まちづくり推進部へお問い合わせ下さい。

①小禄筋トレ教室 小禄市営住宅集会所

毎週金曜日 午前10時～午前11時
10月7日(金)、14日(金)、21日(金)、28日(金)

②我那覇教室(さくら班) 豊見城市我那覇公民館

毎週木曜日 午後7時30分～午後8時30分
10月6日(木)、13日(木)、20日(木)、27日(木)

問合せ先 まちづくり推進部 TEL098-850-9004

フードパントリー活動へ ご協力をお願いします。

沖縄医療生協は「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」の理念のもと地域組合員・職員組合員が一体となって様々な取り組みをすすめています。その中で地域の居場所づくりとして「子ども食堂」や「子ども無料塾」などを運営しており、今後も継続して支援が必要です。組合員皆様のご家庭で余っている食材や生活用品などを子ども食堂や子ども無料塾へ寄付する事で子どもの居場所を継続して支援することができます。フードパントリー活動へのご理解、ご協力、ご支援をお願いいたします。

支 援 物 品 米、乾物、缶詰、ジュース類、お菓子、レトルト食品、生活用品 など
※詳細はお問い合わせください。

問合せ先 ☎098-850-9004 まちづくり推進部(外間)

フードパントリーとは

生活困窮者やひとり親家庭など何らかの理由で十分な食事ができない状況の人々に食品を無料で提供する支援活動の事

LINE 公式アカウント 友だち募集中

沖縄医療生活協同組合の取り組みや健康に関する情報などを発信します！



まちづくり推進部
098-856-2519

無料法律相談のご案内

ところ：沖縄合同法律事務所（那覇民主診療所建物内）
対 象：医療生協組合員
担 当：事務所所属の弁護士が交代で受け持ちます
費 用：初回法律相談（30分）無料

■ご希望の方は、こちらまで（予約申し込み・問い合わせ先）
沖縄合同法律事務所 ☎098-917-1088 住所：那覇市松尾2-17-34
平日、午前9時～12時 午後1時～5時30分にご連絡下さい。

職員募集

※詳しくは(休日、給与、賞、手当等) 沖縄医療生協ホームページをご覧ください。

○正規職員 看護師、助産師、看護補助者
○勤務地 沖縄協同病院、中部協同病院、とよみ生協病院

お問合せ：沖縄医療生協人事教育部 TEL 098-850-3185

介護職員募集

◆無資格でもOK
◆勤務時間は相談可
◆資格取得に向けた
◆援助制度もあります！

勤務地 那覇市、豊見城市、うるま市、浦添市

お問合せ先：沖縄医療生協介護事業課 TEL:098-856-2519 (西仲)

主催：沖縄県民主医療機関連合会・沖縄医療生活協同組合

介護ウェーブのつどい2022

特別講演

「第9期介護保険事業計画に向けて
介護保険の現状と課題を考える」

講師：日下部雅喜氏 大阪社会保障協議会

その他 ○緊急アピールの到達点報告 ○沖縄県内居宅介護支援事業所アンケート調査報告
○介護職員による報告等

日時：11月6日(日) 9:30～12:30 (会場9:00受付開始)
会場：沖縄産業支援センター 3階中ホール 那覇市小禄183-1 ※ZOOMでの参加できます

※新型コロナウイルス感染症の感染対策として、ZOOMと会場同時開催となります。参加希望の方は、下記までご連絡をお願いします。ネット環境がない方は、会場での参加をご案内致します。

お問合わせ まちづくり推進部 介護事業課 担当：西仲、石原
TEL 098-856-2519 FAX 098-850-7990

困ったときは医療・介護の相談窓口へ

医療、介護などで
お困りことはありませんか？
お気軽にご相談ください。

〈窓口〉まちづくり推進部

Tel.098-856-2519

受付時間：月～金 9:00～15:00

相談内容をメモしておくと、スムーズな相談に役立ちます。
新型コロナに関する事は沖縄県のホームページをご覧ください。

困ったときはくらしの相談窓口へ

〈窓口〉沖縄県生活と健康を守る会連合会

Tel.098-833-8161

受付時間：月・火・木(公休日のぞく)13:00～16:00

相談内容をメモしておくと、スムーズな相談に役立ちます。

くらしなどでお困りことはありませんか？
お気軽にご相談ください。

ラジオ放送
fm那覇
78.0kHz

「沖縄医療生協にじのひろば」 毎週木曜日14:30～ON AIR!

毎週ゲストをお呼びして様々な情報をお届けします。

スマホでも
ラジオがなくても
アプリで聞ける！

ListenRadio 検索

聴き逃した時はfm那覇ホームページの
ポッドキャスト配信をクリック！
YouTubeでも聴けます。(見れます)

8月の放送内容です。ぜひお聴きください。

第85回 9月1日 新とよみ生協病院建設
第86回 9月15日 豊見城ブロックのとりくみ
第87回 9月22日 つながりづくり強化月間

※ラジオで聴いてみたい
テーマなどがあれば
お寄せ下さい。

問合せ先 まちづくり推進部 TEL 098-850-9004

私のベストショット♡ 白慢の写真を大募集!!



あなたのお気に入りの1枚を紹介してみませんか？
人物、風景、動物など何でも構いません。
あなたのステキな1枚をお待ちしております。

メールアドレス：okiiseikyodayori@yahoo.co.jp
問い合わせ連絡先：沖縄医療生協まちづくり推進部 ☎850-9004

1面左上に掲載予定です。応募の方法は、お名前・住所・コメントを明記の上、画像データを添付し、上記のメールアドレスまでお送りください。採用された方には図書カード(500円)を進呈いたします。
※画像データは、ご自身で撮影されたものを応募してください。インターネット上のデータは著作権侵害になる可能性がありますのでご注意ください。

今月のベストショット♡

お名前：仲村虹香さん
コメント：保護団体から譲り受けた美家で飼っている5歳のプードル、ノエルくんです。コロナ禍で大変な毎日のなかでも、遅く清々しく生きている姿がカッコ良いです！

定例理事会だより

◎第25期第15回理事会が8月27日にオンラインで開催され、左記の議題について審議されました。

《報告事項》

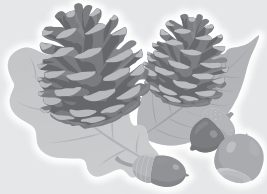
- 1、各種委員会報告について
- 2、2022年度全国四課題実績について
- 3、全県ブロック会議特別アピールについて
- 4、理事の退任について

《決議事項》

- 1、人材確保対策に伴う担当者配置について
- 2、中部協同病院副総看護師長人事について

《協議事項》

- 1、7月度決算について
- 2、介護事業にかかる那覇市委託事業について
- 3、総代選挙について
- 4、2022年度つながりづくり強化月間アピールについて
- 5、新型コロナウイルス感染症対策と組合員活動について



全国四課題の到達

	8月	2022 年度累計	累計
組合員ふやし (人)	109	668	98,255
出資金ふやし (千円)	8,062	40,029	1,964,461
班づくり (班)	2	7	343
担い手ふやし (人)	1	16	1,009

担い手ふやしについては、現勢を載せています。

組合員の皆様へ

大切な出資金をお預かりしています。住所変更やお亡くなりになられた場合は、名義変更や脱退処理が必要となりますので、お手数ですが、お早めにご連絡をお願いします。
TEL098-850-9004 (まちづくり推進部)



ふれあい広場

50年のあゆみ

沖縄医療生活協同組合50年のあゆみ、小さな一歩から始まり組合員が10万人まであと一歩。すごい働きに感動。

嘉手刈光子 (豊見城市)

ちむどんどん

新とよみ生協病院の完成と開院に、待ちかねていゝと肝どんどんに、友人にPRと組合員加入をすすめます。

上地和夫 (糸満市)

私の生きがい

20年ほど前に1年で挫折してしまったクラシックギター、70才を機に再度始めて3年になります。毎日約2時間の練習も楽しくて、私の生きがいです。ギターの弾けるおばあちゃんであり続けたいです。

グッピー (那覇市)

お得に驚き

組合員証の提示でユインチホテルの入浴料が300円も安くなるとは！しかもミネラルウォーターも付くなんて、お得すぎて驚きました。LINE公式アカウントも友だち登録しました。

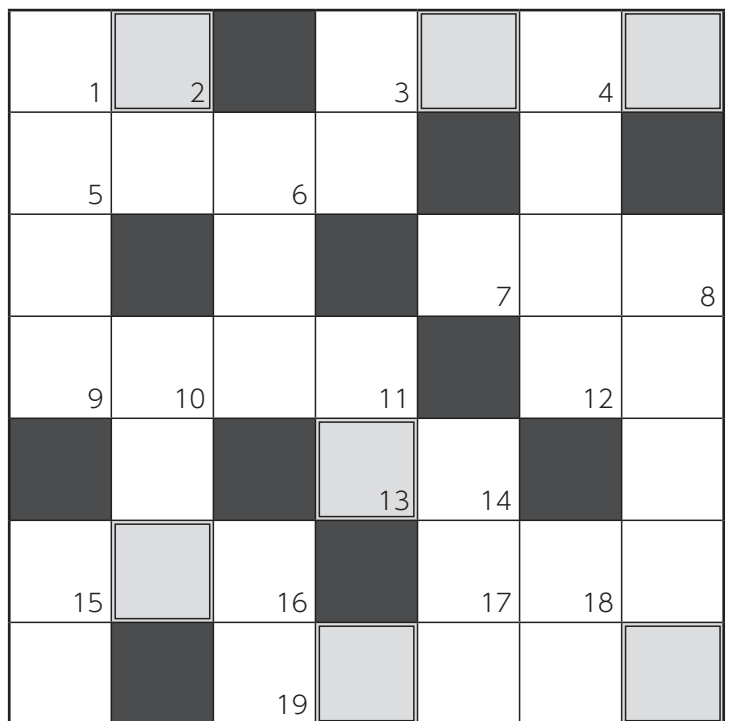
島 美紀 (那覇市)

シアワセだなあ

八月の夜、床に就くと左側から虫の声、右側からイビキ。「シアワセ」だなあ。いつまでも平和が続くことを祈る！

宮城敏子 (南城市)

クロスワードパズル



作・島袋 聡

タテのヒント

- 1、10月10日は〇〇〇〇の日。
- 2、風雨のために海が荒れること。
- 3、平和の象徴
- 4、学校などで、学業・技芸を教える人。先生。教員。
- 6、水のしずくが凍って、軒下や山の岩などに棒状に垂れ下がったもの。
- 8、仁徳を他に施す方法。また、特に医療をいう。「医は〇〇〇〇なり」
- 10、他の火や熱が移って燃えだすこと。
- 11、脊椎動物の頭と胴をつないでいる部分。頸部。
- 14、原料や素材に手を加えて新しい物を作ること。細工をすること。
- 15、形や模様などにはなやかさがなく、目立たないこと。
- 16、高等植物で、葉・根とともに植物を構成する基本器官。
- 18、回転するものの中心となる棒。

ヨコのヒント

- 1、酢で調味した飯に、生、または塩や酢をふりかけた魚などの具を配した料理。
- 3、背部の筋の総称。浅層には僧帽筋・広背筋などがあり、深層のものは肋骨や脊柱の運動に関係。
- 5、衣服などに縫いつけた袋状の小さな物入れ。隠し。
- 7、はいたりふいたりして、ごみやほこり、汚れなどを取り去ること。
- 9、高い所から落ちること。
- 12、物の中心部分。
- 13、実際に以上に美しいものとしてとらえること。
- 15、自分の置かれている位置・状態、また、自分の価値・能力などをはっきり知ること。
- 17、長い年月を経ている樹木。
- 19、空間や場所にゆとりがなく、自由に動きがとれないこと。

二重枠のヒント

初めから終わりまで、態度や方針が、ずっと同じで変わらないこと。意見や主張などをひとすじに貫いて、矛盾がないこと。

応募の方法

- マス目に答えを記入し、2重枠の文字のヒントを参考に並べ替えて下さい。
- 締め切りは11月15日(火)です。(消印有効)
- クロスワードパズルの解答・当選者は449号(2022年12月5日発行)です。
- ハガキに答え・住所・氏名・一言コメントを記載しお送り下さい。正解者の中から15名に図書カードを贈呈します。

■送り先
〒901-0294 豊見城市字真玉橋593-1(8階)
沖縄医療生協本部 まちづくり推進部
☎098-850-9004

2022年8月号 445号
クロスワードパズル解答

ス	ガ	オ		ド	リ	ア
イ	キ	モ				リ
カ	ダ	イ		ア	イ	ス
ワ	イ			コ	イ	
リ	シ	ユ		ウ	ク	イ
		ヨ		カ		チ
ソ	ウ	キ			カ	ゴ

ワキアイアイ

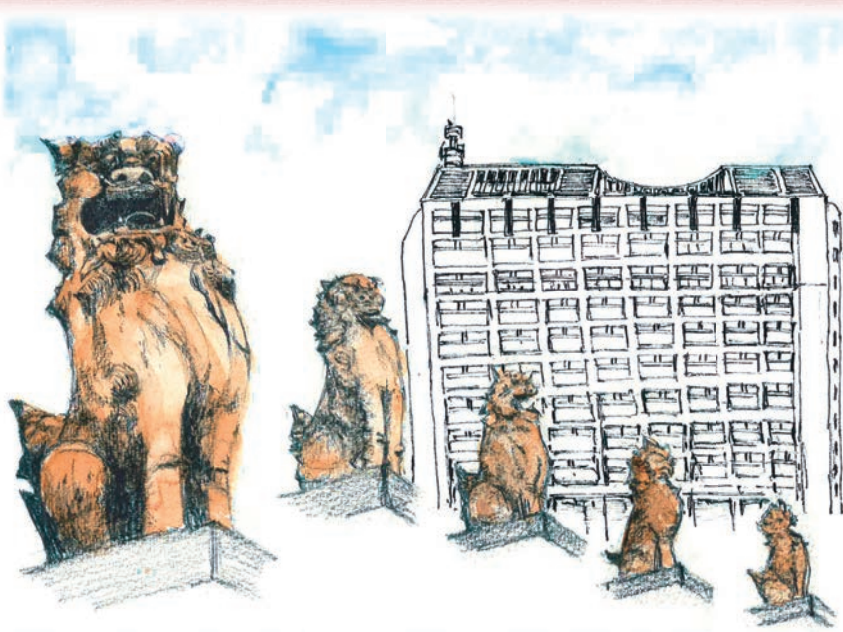
当選者

- ・国 良治 (うるま市)
- ・照 紀子 (沖縄市)
- ・大 博美 (沖縄市)
- ・真 美子 (豊見城市)
- ・宮 宏太郎 (西原町)
- ・真 美代子 (浦添市)
- ・謝 由美子 (浦添市)
- ・包 カツコ (那覇市)
- ・遠 弥生 (那覇市)
- ・村 昌子 (那覇市)
- ・久 直子 (那覇市)
- ・儀 隆夫 (那覇市)
- ・大 俊夫 (豊見城市)
- ・翁 清 (糸満市)

80名の応募があり全員が正解しました。抽選で15名の方に図書カードをお送りいたします。
ご応募ありがとうございました。

※クロスワードパズルの応募ハガキの余白に記入されている一言はふれあい広場に掲載されることがありますので、ご了承ください。

“県民の守り神” 「県庁のぐれんじゃー」



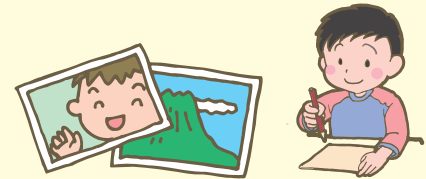
絵：上原 和博

募 集

2023年1月新春号1面に掲載の写真、詩を募集します。

プロ・アマ問いませんが、未発表作品に限らせていただきます。

採用された方へは図書券を進呈いたします。



問い合わせ 098-850-9004
まちづくり推進部

作品コーナー

笑顔
いっぱい
の花
が咲いた！



利用者の写真を貼りだしたいとの事で、利用者の作品として展示できないかと考え、元気なヒマワリを利用者の皆さんに作ってもらい、写真を真ん中に貼ろうと作成しました。

上手な利用者が出来ない方の分まで作成し、職員も手直しなど綺麗に見えるよう作成にかかわっていました。写真は職員が撮ったのですが、大きな調整に苦戦しながら、どうにか全員分の笑顔いっぱいのヒマワリが咲きました。

通所リハビリ 仲村 敦

あいラブ
医療福祉
生協

2022年度 医療福祉生協
生協強化月間
2022年9月26日(月)～11月30日(水) 組合員加入受付中!

日本医療福祉生活協同組合連合会 <http://www.hew.coop/>

やみつき茹で鶏

材料

- 鳥モモ肉 …………… 1枚 約200g
- しょうが、長ネギの青い部分
なければくず野菜でOK! 湯がく時に鶏肉の匂い消しにつかいます。
- ★たれ
 - 醤油 …………… 大さじ3
 - 砂糖 …………… 小さじ1
 - 白ごま …………… 少々
 - お酢 …………… 大さじ1
 - ごま油 …………… 小さじ1
 - おろししょうが、おろしニンニク …小さじ1
この2つはお好みで調整。
 - 長ねぎ、青ネギは別で準備します。

作り方

- 1 鶏肉を水がかぶるぐらい入れて、くず野菜しょうがを入れて火にかけます。
- 2 沸騰したら中火で10～15分茹でます。鶏肉に火が入ったらザルに上げて粗熱をとります。
- 3 その間にソース作りです。★を入れて混ぜあわせます。
- 4 鶏肉の粗熱がとれたら食べやすい大きさにカットしてお皿に盛り付けます。
- 5 ★のソースを鶏肉にかけ長ネギや青ネギを小口切りにカットして上からかけて完成です。



ここがポイント

お好みでソースに一味や七味、キムチの素を入れてピリ辛でも美味しいです。夏場は冷やしても美味しくいただけます。

今月の品



沖縄協同病院
栄養管理室 調理師
嘉手川 重彦